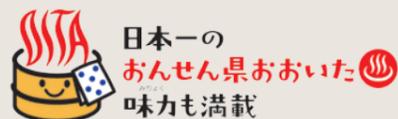
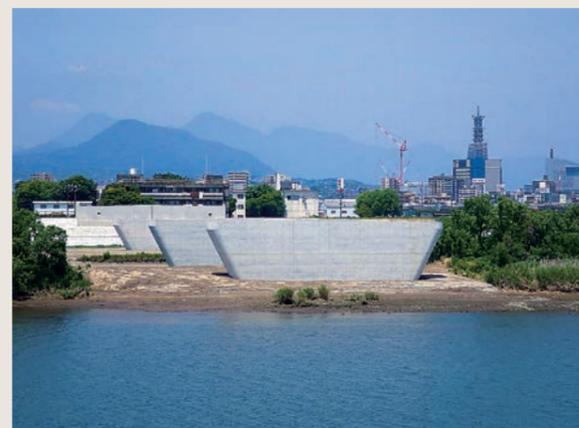


— 人と街と未来にやさしく —  
**東洋技術 株式会社**

所在地：〒870-0856 大分市大字畑中433番地  
 TEL：097-554-5330  
 FAX：097-554-5327  
 URL：http://www.toyogijutu.co.jp/  
 従業員：47名  
 設立年：1986年6月  
 代表者：代表取締役 帆秋一見



国道10号別大道路



工事が進む大分川の新橋



太田杵築線高架部



社屋全景



魚道と船通し(大野川)



水路トンネル(矢板工法)



第2田ノ浦川砂防えん堤



橋梁点検



発進立坑内から見上げた青空

**地域のインフラ整備へ新しいソリューションで貢献**

弊社は昭和61年6月に設立以来まもなく30年を迎えようとしており、社会資本インフラの整備を通じて地域社会の発展に貢献してきました。設立当初はわずか6名でしたが、多くの方々の支援と技術力向上への弛まぬ努力の結果、現在では基幹プロジェクトへ参画する機会をいただけるほどの信頼を得るまでに成長しました。社会資本整備をとりまく環境は大きく変化していますが、今後も設立時の想いに立ちかえり、「地域社会に育てていただいた会社」として、私たちの技術力をもって地域社会に貢献していきます。

**大分に根ざし住みよい地域づくりを推進**

事業展開の基本方針は、地元大分はもとより九州にしっかりと密着し、地域の活性化に尽力することです。人々の豊かな生活を支えるため、自然、風土、生活を熟知し、個性のある街づくり、環境づくりに全社をあげて積極的に取り組みます。かけがえのない自然、動植物の生態系に配慮した環境づくりには、常に新しく先進的でなければならないと考えています。

**ニーズに適切かつ迅速なパフォーマンスを発揮**

社会の様々な基盤づくりの技術コンサルティングに対応するため、道路、構造、水工、調査測量の各部と技術管理室を設け、各分野のスペシャリストが最新技術を駆使し、迅速かつ明快に事業を展開しています。

● **環境との調和と社会のニーズに応える**

道路部は、道路に関わる調査・計画・設計を幅広く担当します。道路は地域を結び経済を支える社会基盤インフラであるとともに、災害時には命を守る避難施設となるなど多くの役割を担うものです。

そのように多様な役割を求められる道路整備について様々な分野の最新技術を結集し、地域に精通したコンサルタントとして地域社会のあり方と自然環境のバランスを最適化し、利用者目線の計画を目指しています。

● **構造物ソリューションのよりよきパートナー**

構造部は、道路橋を始め歩道橋、水路橋等の橋梁構造物に加え、函渠やトンネルなど様々な構造物の新設、維持補修補強に関する計画・設計及び、点検調査を行っています。

近年のコスト縮減、新技術・新工法の採用、耐震性能の強化などの課題へ、柔軟かつ適切に対応するため、常に個々の技術力ならびにチームワークの向上を図り、

発注者のよりよきパートナーとなるよう心掛けています。

また、最近のトピックとして大分市を流れる一級河川大分川に、約半世紀ぶりとなる新しい橋を架けるプロジェクトの設計業務に参画しました。現在施工中で地域活性化への寄与が期待されるこの橋が、無事に完成されることを楽しみにしているところです。

● **確かな技術と経験に時代を見る目をプラス**

水工部は、河川・砂防・上下水道とそれらに関連する構造物など、水に関する幅広い分野の計画・設計に取り組んでおり、維持管理に係わる点検調査・補修補強設計・計画なども手掛けています。

私たちの生命・財産を脅かす水。私たちの生活に欠くことのできない水。川がもたらす自然の偉大さを受け止め、自然環境と都市環境の調和と創造的な提案を通じて、水との良好な関係構築を目指しています。

● **正確・迅速がモットーの“縁の下の力持ち”**

調査測量部では、設計部門と綿密な連携を図りながら、道路や河川、宅地など測量全般を受け持ちます。各段階での入念なチェックを繰り返し、正確かつ迅速な仕事を積み重ねて、信頼される測量のエキスパートを目指しています。

● **常に時代のニーズ・シーズにアンテナを**

技術管理室は、常に新しい技術の探索・修得を行い、各部を技術面からバックアップし、より顧客満足度の高い成果の提供を目指して、業務の照査や品質管理を行っています。

さらに、道路台帳や管理台帳などのデータベース化やGISの開発・活用をはじめとする情報技術業務を手掛け、着実に実績を重ね、維持管理の効率化と精度向上に貢献しています。

**九州における次世代のインフラ整備をサポート**

東九州自動車道の全線供用が目前となり、基幹的な道路ネットワークに大きなインパクトが投げられる一方で、九州各エリアのインフラ整備においては老朽化対策や少子高齢化に伴う過疎化対策、また頻発する様々な自然災害への防災対策など諸課題に取り組むことが急務となっています。「人と街と未来にやさしく」を追求し、自然と共生する未来を提案することが私たち建設コンサルタントに与えられた使命であり、その実現に向け常に厳しい姿勢を忘れずに、今後も地域の発展に貢献していきます。

(文：技術管理室長 浜田活義)